

一般質問

施政方針について



金光英晴 議員

質問

市長の考えるあるべき行政の姿とは。事業予算が消極的で施政方針に矛盾が見られるが、どのように解釈すればよいか。

市長

あるべき姿はより安いコストで、より厚く良いサービスを行うこと。施政方針は、1年間の市政の重要政策や町づくりの方向性を示すものだが、財政の見直しが必至の状態であり、市の将来を考えると大幅な減額もやむをえない。

地域審議会への
諮問内容について

質問

地域審議委員会に、

前任の権威を振りかざす前町

長を選ぶべきでない。産経新聞の「佐渡のご意見番」の小木の地域審議会の内容は事実か否か。

小木支所長

今回は、委員の方々に議事録の内容確認や訂正を怠った。記事の内容は合併前のことで必要なしと判断し、削除した。加筆は認め謝罪したが、ねつ造は認めていない。

質問

新市建設計画は地域審議会への諮問事項か。

企画情報課長

審議会に建設計画の諮問をする必要はないが、建設計画に変更がある場合は諮問が必要のために、計画全体を理解してもらうため

諮問の形を取った。

学校教育環境整備
検討委員会の審議は

質問

学校の改修事業が進められているが、小中学校の将来の総数、保育園・幼稚園



統合予定の岩首小学校全景

の統廃合や合理化計画について審議したのか。

教育長

小中学校の適正規模、総数等は検討中だが、規模だけでなく、辺地は特色ある学校として残すことも検討している。小学校の増改築など合併前からの緊急性の高い事業は進めているが、幼稚園は保育園との関連で今後の検討課題としたい。

行財政改革について

質問

機構改革への決意と、行政財産、遊休財産の利活用への考えは。予算編成は、今後も支所単位の要望を積み上げるのか。

市長

改革は急を要し、新年度に行政改革推進室を設け、平成18年度に向かって改革を行う。遊休財産は必要に応じて施設ごとに検討する。予算編成は徐々に佐渡全体を見直した方向で行いたい。

国営かんばつ治水工

質問

佐渡市が、多額の財政負担で推進する理由と計画変更後の事業内容、佐渡市の負担額、受益者の負担内容は。

市長

用水受益計画が4660haが2550haに変更、ダム計画は3ヶ所から2ヶ所に計画変更となり、事業費は596億円から740億円に、県営事業は37億、基盤整備促進事業が136億、分散水源事業が28億、全体事業で941億円の計画となる。説明が十分に行われていない地域もあり、現在説明に努めている。農家の維持管理費の負担額は1反歩約1000円となる。佐渡市の負担は7億9000万円、維持管理費が年約3000万円。受益者負担は1反歩当たり10000円の予定である。